

霧島山

概 況

火山活動に大きな変化は認められず、比較的静穏でした。

29 日と 30 日に新燃岳付近を震源とする振幅の小さな火山性微動を計 3 回観測しました。御鉢付近を震源とする火山性微動は発生しませんでした。

噴煙活動の状況

噴煙は見られず、噴気等の表面現象に大きな変化はありませんでした。

地震・微動活動の状況

新燃岳

新燃岳付近を震源とする振幅の小さな火山性微動を 29 日 2 回、30 日 1 回観測しました。継続時間は 2 ～ 3 分間でした。火山性地震は、95 回（8 月 59 回）発生しました。26 日には 33 回とやや多発しましたが、新燃岳から離れた所を震源とする地震であり、火山活動と直接の関係はないと思われます（図 1）。

御鉢

御鉢付近を震源とする火山性微動は発生しませんでした（図 3）。また、御鉢付近を震源とする火山性地震は少ない状態でした。東京大学地震研究所高千穂西観測点（御鉢火口から西 1.1km）での地震回数は 13 回（8 月 39 回）でした（図 2）。

地殻変動活動の状況

GPS による地殻変動観測では、御池 - 高千穂、御池 - 高原、高千穂 - 高原の各観測点間の基線長に変化は見られませんでした（図 4）。

現地観測の結果

3 日に実施した御鉢の現地観測では、火口底噴気地帯の噴気量や噴気の高さに変化は見られませんでした。

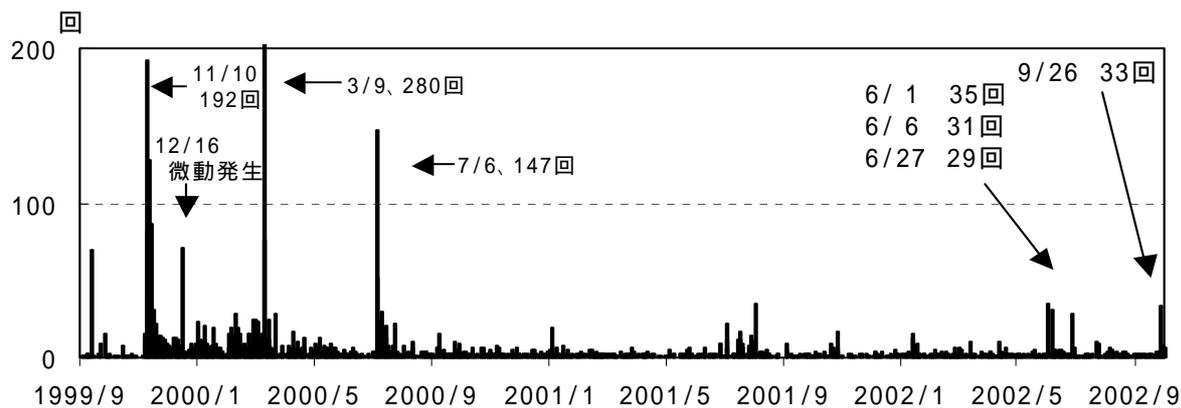


図1 A点の日別地震回数(1999年9月~2002年9月)

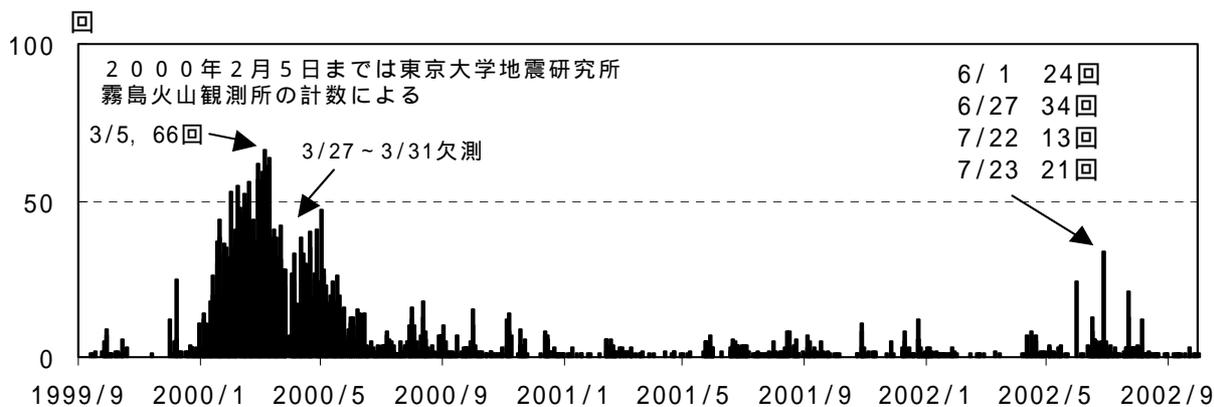


図2 御鉢付近を震源とする地震の日別回数(1999年9月~2002年9月)

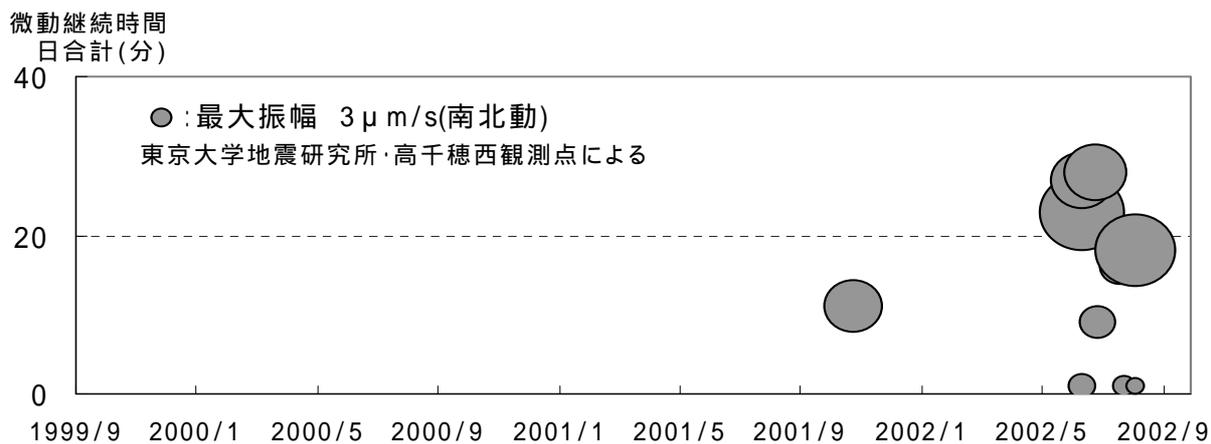
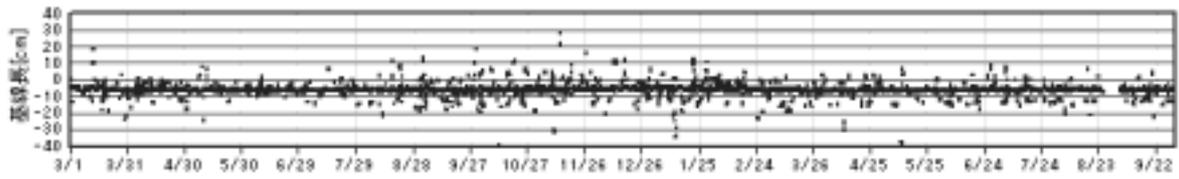
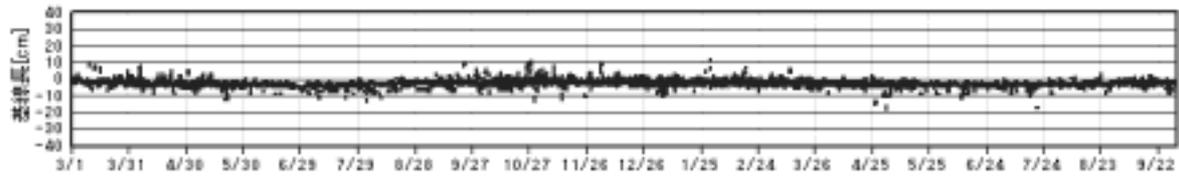


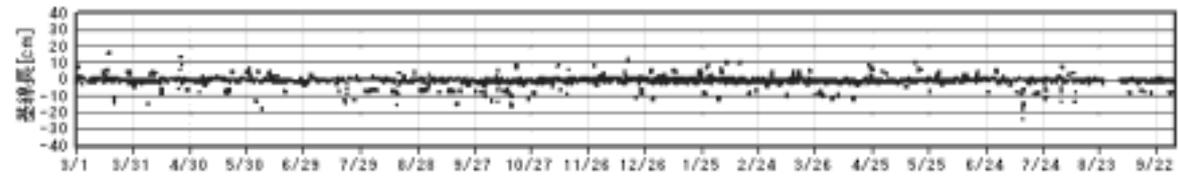
図3 御鉢付近を震源とする微動の発生状況(1999年9月~2002年9月)



御池 - 高千穂の基線長(2001 年 3 月 1 日 ~ 2002 年 9 月 30 日)



御池 - 高原の基線長(2001 年 3 月 1 日 ~ 2002 年 9 月 30 日)



高千穂 - 高原の基線長(2001 年 3 月 1 日 ~ 2002 年 9 月 30 日)

図 4 GPS による基線長

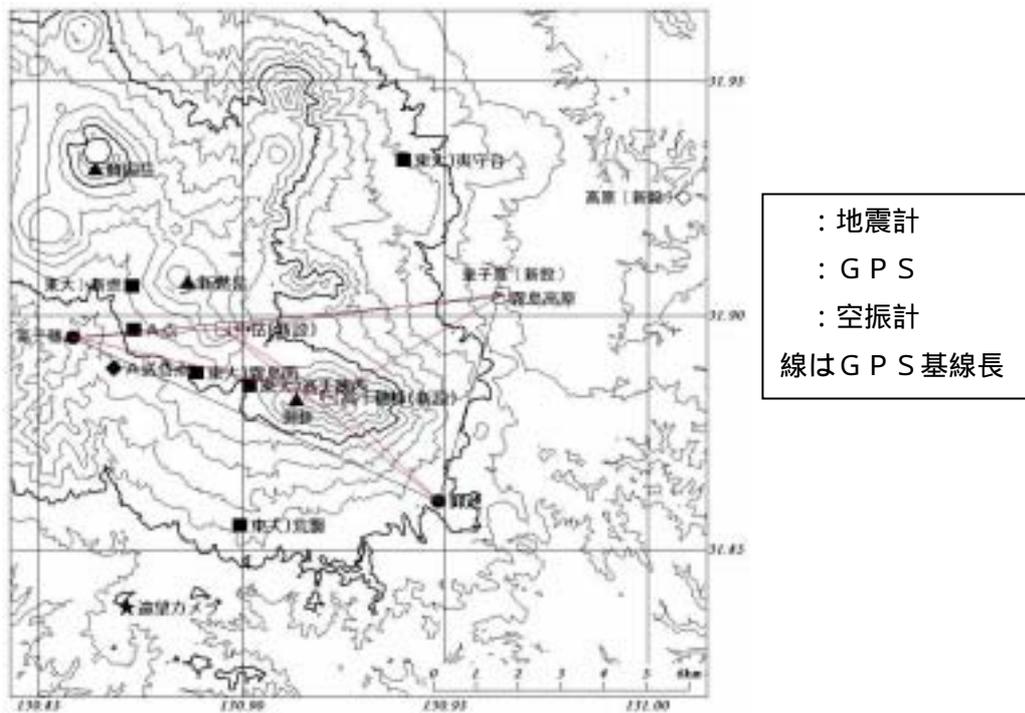


図 5 観測点配置図